大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

昭和十年九月十七日 新京日日新聞 （火曜日） 第[illegible]號

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯部專用三二二五 營業部專用三三二〇〇）
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

滿鐵副總裁後任 大村氏遂に受諾

松岡總裁の懇望を容れて 數日中に正式發令

滿鐵副總裁後任は關東軍交通監督部長大村卓一氏に決定した、大村氏の謙讓によつて行き惱み狀態にあつた滿鐵副總裁問題も松岡總裁の熱心なる懇請により遂に大村氏の快諾となり、急轉直下的に解決を告げたが正式任命は四五日中に發令の筈である

欣然受諾した 新副總裁 大村氏は語る

滿鐵副總裁就任を受諾した大村卓一氏は語る

昨日松岡總裁より後任副總裁就任懇望のお話があつたのでこれも御國に對する御奉公だと思つて欣然受諾した次第であります云々

松岡總裁 經過報告

松岡總裁は十五日大村交通監督部長を訪問後任副總裁就任受諾方を懇望の結果、遂に大村氏の欣然受諾を得たので松岡總裁は十六日午後二時半大野關東局總長を訪ひ、副總裁後任に大村氏を推薦に決し既に本人の快諾を得た旨を告げ更に軍司令部に西尾參謀長を訪問副總裁後任問題決定の經緯を報告するところあつた

逸話のないのが この人の逸話 謹嚴方正の大村氏

新滿鐵副總裁に決定した大村卓一氏は謹嚴の化身といつた樣な人でその風貌もう一廻り肥れば濱口元首相に似てゐるのでその朝鮮時代は性格、風貌からして朝鮮濱口と口さがない連中にニツクネームされた程である、元來熱心なロータリアンで國家社會への奉仕の爲には一切を犧牲にするといふ人で、これも朝鮮時代に令息が例の學生〇〇事件に連坐して心痛の極にある最中令姪美代子さんが見舞の爲大村氏を訪れ滯在中京城プールで溺死し重ね〻〻の不幸で世人の同情は翕然と同氏の上に注がれた事があつたがそれでも氏は當時羅津開港といふ重大使命を荷なつてゐた頃なので敢然と役所に早出晩退して事務を執つたもので、氏の此嚴正なる態度は未だに關係者間に語り傳へられてゐる同氏は一口に云へば逸話がないと云ふ事が逸話になる程謹嚴方正な人なのである

副總裁を快諾した大村卓一氏

大村氏經歷

十六日滿鐵副總裁に決定した大村卓一氏は明治五年生まれの福井縣人、同二十九札幌農學校工科を卒業し、北海道炭鑛鐵道會社雇、同技師を經て同三十五年鐵道事業視察のため歐米、シベリヤに出張し歸朝後帝國鐵道廳技師、北海道鐵道管理局工務課技術課長同管理局長心得、鐵道監察官に歷任、大正七年以來西比利亞鐵道監理官、同九年支那政府顧問とし山東鐵道の經營に參與大正十四年朝鮮總督府鐵道局長、昭和八年關東軍交通監督部長に就任し現在に至つたが、我が鐵道界の權威者で溫健公正な人格者として軍部滿鐵に信望厚い人物である

伊エ關係切迫說で 俄然株界は沸騰

軍需株を中心に一齊高

【東京國通】昨今の株界は伊エ紛爭問題の刺戟を契機として漸次立直り模樣を示し市場を擧げて問題の動向に多大の關心を拂つてゐたが、國際聯盟に於ける同問題の紛爭處理が益々紛糾に陷り愈よイタリーの聯盟脫退、伊エ戰爭開始が此數日の中に切迫し惹いては英伊兩國の關係も惡化しつゝありと云つた極めて刺戟的な情報が傳へられるに至り、十六日は人氣俄然緊張し戰爭氣分が沸騰し買込み物の踏物相次いで現れ先づ新東が百五十圓大の氣配から利喰ひを良く消化して百四十九圓四十錢と一擧三圓高急奔騰を演じ次いで日本鋼管、日產、郵船等の軍需株が一圓乃至二圓急反撥を示しその他紡績人絹株も一圓七八十錢方沸騰して近來の活況を呈した

和協工作は あく迄排擊す 伊政府の重要聲明

【ローマ十五日發國通】イタリー政府當局は十四日エチオピア問題に關する閣議の重要決定に關し十五日更にその理由を敷衍し次の如く非公式に言明した

政府が十四日の閣議で飽くまで妥協排擊に一決したのは事實エチオピア政府の誠意に信賴するを得ず最早妥協工作による解決方法は何等效果が無い事を觀て取つたからでイタリー政府はウアルウアル事件以來斷乎徹底的にエチオピアに關する禍根を根絕する決心を固めたイタリー政府はエチオピア國軍五十萬の脅威に備へる爲數億リラの巨費を投じて廿萬の軍隊を整備した、政府は無期限にかゝる大負擔に堪へるものでも無く又危機の發生每に之を繰り返し得るものでも無い、問題の解決はかくて一日も遷延を許さないのである、ジユネーヴ妥協案なるものは何等先例を考慮に入れず又現時の事態につきエチオピア政府の責任を追究しようともしない、要するに妥協案は現實の事態に應ふる所以でも無く、又必要を解決するものでも無いからイタリー政府は斷じて受諾出來ないのである

伊の聯盟脫退 愈近く敢行か

和協試案採擇と前後して

（ジユネーブ十五日發國通）イタリー政府が十四日國務會議の結果强硬方針を決定したにも拘らず法律專門委員會は依然和協試案の審議を進め愈よ來る十六日夜までに起草を了することゝなつた、フランス代表ラヴアル首相英國代表ホーア外相は本國政府と打合せの結果を齎らし十七日相次でジユネーブに歸還する筈だが五人委員會は兩代表の到着を待つて和協試案を採擇、伊エ兩國政府に提示する段取りである、然し乍ら和協工作の前途は全く絕望視され和協試案の採擇と相前後してイタリー政府は愈々聯盟脫退を敢行するものと豫想される、各國代表部では既に最惡の場合を豫想し一九三一年十月の總會決議、一九二五年十二月ロカルノ條約締約國の聯合通牒等を基礎にイタリー政府に對する制裁案に極秘裡に協議を進めてゐるが結局武器並びに鑛物の輸出禁止案に落つくのではないかと觀られる、但し英國政府では一切の通商上又は金融上の關係を斷絕し且つイタリー品をボイコツトする案を考慮、經濟的壓迫によつてムツソリーニ首相を屈服させる方針とも傳へられる

昨日の寄付

【東京國通】イタリーのエチオピア進擊開始說の報を入れて十六日寄付は軍需株を中心に各株とも一圓乃至三圓昂騰し新東は五月以來の高値であつた、寄付左の如し

新東	一四九圓四〇
京鐘	一二四圓〇〇
日穩	七九圓九〇
日書	五六圓二〇

課稅權の撤廢移讓 來年早々斷行する

附屬地は關東局で徵稅 きのふ治法幹事會

十六日の治外法權撤廢現地委員會に於ては課稅權問題が討議されたが討議の結果左の如く實地要綱を決定した

一、課稅權の撤廢委讓は附屬地內外共に來年早々斷行する

一、附屬地內の徵稅は附屬地に於る警察權を委讓する迄日本側機關で之を行ふ

一、附屬地內外共に課稅に當つては在留邦人の急激な負擔增加を來さゞる方針をとる

尙稅率其他に就ては今後附屬委員會に於て決定の筈であるが右實施要綱決定の結果課稅權移讓問題は今後急速なる進展を見る事とならう

幹事會案 成る

治外法權撤廢現地委員會幹事會は十六日午後二時より軍司令部に於て開催せられ、課稅問題に關し過般來各關係當局において種々研究したるところにもとづき幹事會案を審議決定した後散會した

附屬地各所に 稅務所設置

十六日の治外法權撤廢現地委員會幹事會に於て附屬地內の徵稅は警察權を委讓する迄日本側當局（關東局）で行ふこととなつた、右の結果關東局では奉天、安東、新京、鞍山其他數ケ所に稅務所を設置する爲來年度豫算に約廿萬圓を新規要求として計上することとなつた

商議側の意見に「當局の意向」

奉天商工會議所では過般來滿洲國課稅權の移讓調整につき各種の意見を公表してゐるが滿洲國當局は右につき次の如き意向を表明してゐる

一、負擔の急激なる增加緩和を盛んに提唱してゐるが之は日本側當局は勿論現地滿洲國政府に於ても屢々聲明してゐる通り課稅權移讓に際しての原則とも言ふべきもので負擔の急增は絕對にやらない

一、關東州並に朝鮮の稅率を基礎に稅率の改訂を云々してゐるが、之は甚しい誤謬と言はねばならない、朝鮮は純然たる植民地であり關東州は日本の租借地であり一方滿洲國は日本と不可離の關係にはあるものの完全なる獨立國たる以上財政の調査を行ひ正常なる發展を志す可きであり、滿洲國の發展は即ちこれと密接不可離の關係に立つ日本の利益である、滿洲國を關東州、朝鮮と同一觀念で律するは誤りであると言はねばならない

一、現行稅制は最後的のものではなく一應の第一次整理を終り目下第二次の根本的改正を準備中であり漸進的に邦人課稅が行はれ滿洲國人と同一稅率の負擔となる頃には新しい合理的な稅制が布かれる豫定で日本人の既得權益に就ては充分の考慮をなしてゐる

來年から本格的に 砂金採取に着手

來京した 小日山直登氏談

北滿洲金鑛株式會社々長小日山直登氏は關東軍、滿洲國實業部並に滿洲採金會社等關係各機關と事業計畫の打合の爲め十四日午後來京ヤマトホテルに滯在中であるが、大體廿日頃までに各方面への挨拶を終へ同社の砂金採掘地たる漠河に赴く筈である、同氏は事業計畫につき左の如く語つた

本社は去る六月二十五日資本金二百五十萬圓（全額拂込）で設立された會社で滿洲採金會社から租鑛權を得て同社の鑛區である漠河を中心に砂金を採摘する會社であるが事業成績についてはまだ創立したばかりだから何とも申し上げられない今日までの調査によれば漠河附近の砂金の含有量は極めて豐富で朝鮮方面の約十倍位である、現在ドレッヂャ（採金船）三台を現地に輸送中であるから本格的事業の着手は來年七八月頃となる見込である漠河の砂金は極めて有望で恐らく全滿隨一といはれてゐる

尙ほ小日山氏は來る二十一日頃離京ハルビンから飛行機で漠河に赴き十月中旬頃再び來京する筈

國務院定例會議

十六日の國務院定例會議は左の事項を決定した

一、內國旅費規則
一、外國旅費規則
一、外國旅費臨時增加の件
一、衛生技術廳官制中修正の件

特別市自治委員會

特別市では廿日午後一時より自治委員會を市公署內會議室に於て開催することになつたが、當日の議題は（一）長通路と永長路角の市有家屋の移轉につき家屋賣却の件（二）土地評價委員の補欠互選である

グラフ新滿洲 全世界に配布

總務廳情報處の企

文書に於ける滿洲國の實情宣傳は諸外國に向つて相當廣く行はれてゐるが未だこれをフイルム、寫眞等での宣傳が不足を感じられてゐたが總務廳情報處では着々建設の進捗してゐる新興滿洲の實情を三百餘の寫眞に收め「新滿洲」と題する大册のグラフを作製、之に日、滿、露、英、獨の五ケ國語で說明を附し全世界に向つて實情紹介をすべく目下龜谷事務官主任となり編輯を行つてゐる

川越次長 けさ離京

ハルビン、チチハル方面視察中であつた對滿事務局川越次長一行は十五日午後三時四十分着にてハルビンより歸京ヤマトホテルに入つたが十六日は午前九時半國務院に張國務總理を訪問會談四十分に及び同十時十分辭去した、尙一行は十七日午前七時卅分新京發の臨時飛行機にて圖們より朝鮮經由離滿の筈である

日滿支炭業の ブロツクも考慮

炭業統制委員會は十九日開催

第二回炭業統制委員會は來る十九日午前十時より軍司令部に於て西尾委員長以下各委員幹事出席の上開會されることとなつた、今回の委員會に於ては既報の如く今春決定を見た滿炭と滿鐵間の地域的販賣協定並びに價格統制の經過報告を主としそれに基き炭價切下げに必要なる各種のコスト引下げの具體的方法が議せられる筈でこの結果ハルビン市場を中心とする北滿炭價の切下げが期待せられてゐる、以上の如く今次の會議に於て先づ撫順滿炭と和剋する國內炭業の合理的統制を終り、次に日本炭業との調整北支炭業を包含する日滿支炭業ブロツクの統制が實質的に考慮される段取りとなるものとして今次の會議の結果は注目さる

人事往來

▲宇佐美喬爾氏（滿鐵鐵道部旅客課長）十六日午後通過ハルビンへ
▲石村長七氏（奉天鐵道事務所副所長）十六日午後來京ヤマトホテル
▲入江庄太郎氏（電業公司專務取締役）同上
▲岡崎寅雄氏（國際運輸會社專務取締役）十六日午後發ハルビンへ
▲大原萬千郎氏（地方委員會議長）哈爾賓から同日歸京
▲藤田少將十五日午後來京
▲安藤少將、同
▲尾高少將、同
▲田中中將（旅順要塞司令官）同
▲外山中將、同ヤマトホテル
▲郡山智氏（滿鐵理事）十六日午後來京
▲川越丈雄氏（對滿事務局次長）十五日午後來京ヤマトホテル
▲山越道三氏（同行政課長）同
△東福淸次郎氏（事務官）同
▲鈴木武氏（同）同
▲島澤治郎氏（同）同
▲小林五郎氏（滿鐵審査役）同
▲澀谷伊之彥氏（陸軍中將）同
▲田上八郎氏（陸軍中佐）同
▲實吉雅郎氏（日本揮發油會社々長）同
▲山領貞二氏（吉林鐵路局副局長）十六日午前大連へ
▲岩越恒一氏（陸軍中將）十五日午後來京名古屋ホテル
▲三宅一夫氏（陸軍中將）同
▲葛目直幸氏（陸軍少佐）同
▲別府龍氏（大連、森永製菓會社員）同
▲後藤久雄氏（同）同
▲淸水喜重氏（陸軍中將）同
▲山下淸秀氏（滿鐵社員）同
▲澁谷恭三郎氏（安東機械商）同
▲藤田秀雄氏（ハ[illegible]業會社員）同
▲河原崎洋之氏（ハルビン商人）同

航空

△荒賀亮三氏（仙台石炭商）十六日午前發ハルビン
△小林三郎氏（東京會社員）同ハルビンより來京
△近藤繁司氏（ハルビン近藤林業公司）同午後ハルビンより來京
△奧迫兼志氏（新京淸水組）同午後發ハルビン

內亂及陰謀罪

神兵隊事件被告五十四名 特別裁判に附さる

【東京國通】所謂昭和皇道維新を目指し直接行動によつて國家改革を圖らんとし劃策中のところ昭和八年七月未然に之が計畫發覺檢擧された神兵隊事件被告天野辰夫以下五十九名に對する豫審は終結を見十六日これが豫審決定書は各被告に送達されたが中五十四名は刑法第七十八條により內亂及び陰謀罪として大審院の特別裁判に附されることゝなるもので、近日中にその手續が執られることゝなつた

保語

東洋一を誇る淨月潭水源地の探勝計畫、昨年一度試みたことはあつたが當時はその工事がたゞ緒についたばかりでさまで意義はなかつたが▼本年はもう工事も大部分竣工し、今は外觀のお化粧最中とある、いづれ完成後は無暗に立入ることが許されないことになつてゐるので見學は今のうちである▼同地は傳へられる通り恐らく滿洲には何處にも見出されないといはれるほど風景絕佳の地で國都建設局でも既に遊覽地としての萬端の施設を凝らしてゐる▼行樂地に惠まれない新京人に取つて實に得難いものゝ一つ、完成後は全市民から大いに喜ばれるに違ひない▼當日は併せて國都の建設狀況をも逐一見て步かうといふので之だけでも十二分の意義があり、秋の一日をバスに乘つて淸遊を試みる蓋しまたない機會といつてよからう ぜひ多數の參加をおすゝめする▼お祭もすんで地方委員選擧もいよ〱本舞台になつて來た、こゝ數日中に顔觸れも出揃ひ運動も日一日白熱化してゆくであらう

社説

滿鐵、支那に備ふ
情勢の變移と、"橋梁"の具体化

一

支那に言はせれば、日本の支那侵略の最大の手先のやうに言はれて來た滿鐵會社が、今では經濟的に支那の救世主であるかの如くにまでして迎へられやうとしてゐるといふ狀態は、そのまゝに事態の大きな質的推移を語る一つの皮肉的な證左でもあらう。滿鐵またこれに應ずるが如くに最近に於いて支那に對しての積極的な進出の態度を取つてゐる。このことはまた、滿洲に於いて滿鐵が背負うた國民的、歴史的使命の一應の一段落ついた後の伸長であるとも見られるのは面白い。創立以來三十年に近く、今や客觀的情勢は滿鐵をして滿洲の滿鐵からアジアの滿鐵にまでその活動の領域と使命達成の範圍を擴大せしめられてゐるのである。こゝに總裁松岡が世界の人氣男たる面影を復活させて君臨（？）してゐるのだからますく興趣は深い。

二

前理事十河は、滿洲に於ける劍影帽光間の奔走活動に一應の區切りを付け、已れの任期滿了を前に、今度ははげしく、熱心に對支工作の先驅者手に努めた。今日、興中公司の設立を觀つて十河の名が頻繁に傳へられるのも故無きことではない。滿鐵自体としては、最近に於いて、東亜課の新設、を實行し天津に經濟調査會の分所の如きものを設け上海事務所の機能をも强化せしむべきことを表明してゐる松岡最初の人事配置として上海事務所長には豪快土肥の起用が報ぜられ、北支探題としては理事石本の專派が噂されてゐる。南全權大使が着任に當つて言はれたる、滿洲國をして日、支間の橋梁たらしむるの途は、着々として專ら滿鐵を主体として具体化され行かうとしてゐるのである。

三

われらはこの際に、情勢の性質の上に立ち、理論の透徹し行くところ、滿鐵によるかかる推進が最も合理的且つ最も效果的であらうことを信じてゐる。ただ、支那と言へども一つの大きな獨立國であり彼女もまた獨自なる國內情勢を持ち、それより生るゝ主張を有してゐるのである。われらは接衝の當面に立ち時務の遂行に任ずる人々が、よく事態の本質をわきまへ、理想と現實の調和を考へて、われら國民の眞の要望を、新願を裏切らないことを希ふのである。この場合、ひとつの小さな誤謬すらが、アジアの悠久な歴史のうへに悔ひ多き汚點を殘すに至るであらう。信念と誠實が完全に具現さるゝところには必ずや光輝ある功績が記錄せらるゝであらう。いま支那に向つて雄圖を抱く滿鐵の使命を思ひ敢へてこゝに一言した次第である。

國都の遊覽を兼ね "秋の腰站"探勝へ
東洋一の貯水池完成近く
大觀光團を募る

國都建設局が大自慢の淨月潭貯水池工事もその後順調に進んで來月末の完成期を控へて目下お化粧に大童となつてゐる、同貯水池は南新京を距ること東南約十八粁、双陽街道に沿へる腰站に在る、伊通河の支流小河台河の最も狹い川峽を土堰堤にて締切り、其水面積七八平方粁の雨水を集めこれを南嶺に送り、濾過して給水を行ふといふので貯水池としては東洋第一、台灣の日月潭よりも更に大きく國都人口が五十萬に達するも優に給水出來やうといふ素晴らしいものである、しかもこの大貯水池をめぐる周圍の丘陵一帶は自然美豐かに一度こゝを訪れた人は誰しも「滿洲にもこんな所があるか」と一驚を喫しるほど風景絶佳、春秋の眺めはまた格別である、國都建設局では既に遊覽地計畫を樹て目下植樹および自動車巡覽道路の築造中でこれが完成の曉は新京市民の最上且つ唯一の健康的行樂地として一般から喜ばれるであらう既にその大部分を完成したこの機會に新京交通會社では國都建設局並に本社後援の下に來る二十二日（日曜日）秋深き腰站の風光探勝を兼ねて國都の建設狀況をも併せて見學すべく一大觀光團を組織することゝなつた

余興もいろく 次の日曜に決行
市民奉仕に建設局も大乗り氣

なほこの意義ある壯擧に對し主催者の交通會社ではもちろん國都建設局でも心から賛意し、特に市民への奉仕のため非常な乗氣で萬端の準備を整へることゝなつたが、その要領は左の通りである

日時

九月二十二日日曜日（雨天の際は次の日曜日に延期）

▲往路　午前八時三十分國都建設局集合、午前九時國都建設局出發

▲復路　午後二時腰站出發午後三時新京驛前着

順路

一、國都建設局屋上にて藤森、向井兩事務官より都市計畫に關する說明

一、大同廣場（バス）出發興安大路、安達街—興仁大路—大同大街—盤若路南嶺—南關—京吉國道—伊通街道—貯水池

一、貯水池山麓にて淨月潭貯水池中村事務所長より貯水池の築造に關する說明

一、淨月潭附近自由散策

余興、中食

一、中食　辨當、御菓子提供

一、余興　寶探し、運動會（いづれも賞品贈呈）

一、土產　國都建設の全貌寫眞付きパンフレット繪葉書

一、出張賣店（扶桑グリル）その他出張寫眞等の設備あり

一、中食の際は御茶の準備は出來てゐます

會費其他

一、會費　大人二圓也、小人一圓也（往復バス料金辨當その他一切を含む）六歲未滿無料

一、募集人員三百名限り九月二十日正午締切

一、申込は新京交通會社（新京バス）營業課、豐樂胡同一〇一番地、電話六五七五番、五九八一番三七〇二番へなほ電話申込にはオートバイにて切符を速配し、また官廳會社の團體申込は官廳會社の會計係にて取纏めて月末拂にすることが出來ることになつてゐる

秋の"腰站"風景　觀光客を待つ淨月潭大貯水池の風景と完成を急ぐ堰堤工事

丁杏廬漫筆（五）
更に不可分なるもの

南駐滿大使が其の新任以來日滿の不可分關係を提唱したことは日本の對滿政策上確かに一步を進めた劃期的のものといつてよからう

「不可分關係に於ての完全なる獨立國といふのは一寸說明し難いがこは言語を以て證明すべき性質のものではなく、寧ろ心領意會すべき底のものである、吾人は只此の不可分關係を益々促進强化して渾然融洽の域に達せしめねばならぬ、今日不可分を强調するは他日不可分なる言葉をして無用の饒舌に終らしめんが爲めなるに注意すべきである

日滿不可分が頻に叫ばるゝ反面に於て寂然として聲無く何等此を口にするものもないが日滿不可分に比して更に强力强靱なる不可分關係が他に存在することを忘れてはならぬ其れは滿支の不可分關係である、日滿兩國の不可分關係は政治的、經濟的のものであるから滿支のそれは更に根底が深い家族的に不可分であり、其他宗教、風俗、言語、習慣文字等一として不可分ならざるなし、と、いふ有樣である例へば家族的に觀ると自分は滿洲に居るが自分の親兄弟は山東に居るとか、或は妻君は河北に殘して來てるとか、或は自分の子は天津に居るとかいふのが多い、大方三千萬民衆の八、九分通りはそうであらう、殘り一二分の滿洲で生れ滿洲で育つたものでも、其の先祖を尋ぬるならば一代先か、二代先に關裡から來たと答ふるであらう、日滿親善日滿提携の高唱さるゝ今日、三千萬民衆中自分の先祖の墓が日本の東北に在るとか、自分の妻子は九州に殘して來てるとかいふものが一人でも居るか、此の所謂關裡の支那人と關外（滿洲國から言へば關內だが）の滿洲國人と社會上に在つても無論不可分なら、衣食住、言語、習慣皆不可分である、問題は雙方の此の不可分が新興國家滿洲國の統治上如何に影響するかといふことである、双方の不可分が相互に相助成し、相促進し合ふならば文句はないのであるが同一事物を對象としての彼我の不可分關係は始めからして對蹠的ではないとしてもどうも對立的のやうに思はれてならぬ、動もすれば冥々の中相剋し反撥し牽制しはしないか若し多少でも相剋し危險がありとすれば一方を强化する爲めには勢ひ他方を弱めなければならぬ、滿洲國三千萬民衆と支那四億の民衆とが家族的制度の上に於て、又社會機構の上に於て極めて强靱なる不可分關係を存續し、表面の薄皮一つめくれば實質的には滿洲國なるものの存立が甚だ薄弱である場合、一方單に政治的經濟的のみの日滿不可分關係が果して所期の如く促進され强化され得るか聊か疑問なきを得ずであらう、尤も朝鮮の場合は民族的に全然獨立して居るから別であり台灣と支那本土とは正に如上の不可分關係に置かれたのであるがそれにも拘らず日本の台灣統治といふものが立派に成功したではないかといふ議論もあるが台灣は天然の孤島であり且つ地域小にそれく手が屆くが然し滿洲國は外蒙內蒙支那本土と接壤比隣の地である、台灣等は土台スケールが違ふ其例で律する譯には行くまい以上の意味を云ふならば事變後支那側のとつた對滿郵政封鎖對滿交通封鎖等は滿洲國側から觀るならば思ふ壺であり願つたり叶つたりの絶好の機會でもあつた、支那側自身がもう親子の緣も此れまでだ此れからは兄弟とも思ふな長城一重が鐵戸だ、往來も相成らぬ、交通も御法度といふのだからこれ程難有い事はないのである、それは人道上面白くないようだがと一度丈御義理に中入れたら後は知らぬ顏して居ればよかつたのである滿洲國の郵便切手から「滿洲國」といふ文字を抹殺し何處の汽車とも分らぬやうなものを仕立てゝ厭かる先方に無理に通郵通車をさせる必要が何處に在つたかと今以て不思議に思つて居る位である（つゞく）

時事展望　公債漸減政策の行方

日本の豫算編成に於いて自然增收に期待すべきものもなく、增稅が當分不可能であるとすれば、公債漸減政策は何處へ行くのか。まさに阻止し得ぬ豫算膨脹を前にして財務當局は豫算編成難に直面してゐるが、早くより公債漸減を主張して來た立前からして簡單には引込めないであらう。と言つて財政第一主義を充足させる妙案もないのだから自然增收七千萬圓乃至一億圓をたのむ外はないことになる。自然增收を過大に一億圓に見積りいや應なしにそれで押通すことにすれば本年度同樣の公債發行によつて總豫算を一億だけ膨脹させることが出來る。又若し總豫算の膨脹を五千萬圓乃至七千萬圓に食ひ止めれば差引五千萬圓乃至三千萬圓の公債漸減を實現し得ることになる。恐らく一方に豫算の膨脹に應じ、他方では公債漸減の口約を果そうとするやりくり財政はこんな所に落ち着くであらう。しかし、このやうな財政膨脹は財界では目先好材料として取り上げられてゐるのは勿論である。最近の株式界の奔騰もその原因は幾多數へられるであらうがその原因としてわが財政膨脹必至—財政インフレ持續に對する安心をもあげることが出來る。だが、この反面に。來年度の租稅徵收方針が上述したやうに過大見積りに基づくとすればそれだけ課稅査定の過酷や誅求にもひとして稅取立が附隨するであらうことを考へねばならない、增稅斷行と變らないこの租稅徵收は、財政の健全化と財政インフレの進行の矛盾が生む當然な惡材料である。

上海の工業家が日本視察へ

【上海國通】上海工業界の有力者よりなる日本工業視察團一行十八名は三井物產の贈入りで、十五日上海發赴任の途に上ることゝなつた一行は先づ長崎に上陸し八幡製鐵所の見學を皮切りに約一ヶ月に亘り日本の工業狀態を視察する豫定である

商況欄（九月十六日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　八六三、八〇　後寄　—　步　—

●大連金鈔票　現物　寄付　一三七、四〇〇　引　一三七、三五〇　高　一三七、五〇〇　安　一三六、九五〇　出來高　五〇万

▲九月二十八日限　十月十三日限　寄付　一三七、一五　出來　不申

●大連鈔票銀大洋　現物　一二一、一〇　引　一二一、六〇

●奉天國幣對金票　現物　一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇　▲九月十三日限　出來不申

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向　第一回　賣　一三三、五〇〇　第二回　賣　一三三、〇〇〇　第三回　賣　一三三、五〇〇

▲倫敦向　第一回　賣　一志六片一六分三

▲紐育向　第一回　賣　三八弗一六分九

大連爲替

▲上海向　九七、〇五

▲營口向　九七、五〇

株式相場

▲大連株式（短期）

▲奉天株式（短期）

各地市況

●横濱生糸　當限　先限

●大阪期米　當限　中限　先限

●哈爾濱大豆　十月限　十一月限　十二月限　出來高

●同　小麥　十月限　十一月限　十二月限　出來高

手形交換（十六日）　金票　鈔票　國幣

北滿

新營業税の徴收は漸進主義を適用

法規通りの課税は五ケ年後

適當率を設けて愈よ十月より實施

【ハルビン支局發】滿洲國政府財政部では豫ての懸案であつた國税營業税の改正をなして七月一日より實施することに決定した旨は當時既報したが、右新營業税の徴收はいよいよ來る十月を以て開始されることになつたので、哈爾濱税務監督署では之が準備に忙殺されてゐる

新課税額決定については、當局も頗る愼重な態度を持してゐるが、新税率を如何なる程度に哈爾濱では適用すべきかにつき財政部と打合せのため十七日河野副署長は赴京する豫定になつてゐる

今回の改正税率を法規通り適用すれば約十萬圓の增徴となり之を昨年度の下半期に比較すれば約三十萬圓の增徴を來たすことにならう當局としては、從來屢々聲明したる如く一擧に法規通りの課税をなすことを避けて、漸進主義により十月の徴税率は、なるべくなら上半期程度に据置きたいと考へてゐる故に一部滿商側で反對してゐるが如く、新税率をそのまま適用するのではないから誤解ないやうにして貰ひたい財政部で決定した新營業税を法規通り徴收するのは今後五ケ年位かかる見込である

右談話に徴するも當局が決して苛酷なる方法で臨むことはあるまいと推測され、目下不況に沈んでゐる滿商側としても新營業税徴收による打撃は相當に抑制されるものと見られる

河野副署長が赴京の上で新税率の適用範圍につき財政部と接衝する筈であるから、十月徴税率は哈爾濱だけは除外例を設けられ、負擔過重にわたらざるやう適當な率が設けられ一般に發表される筈である

哈市代用官舎十月下旬完成

希望者は抽籤により決定

【ハルビン支局發】政府では滿洲國官吏最大の惱の種となつてゐる住宅難緩和を目的として全國主要都市に代用官舎の建築を急ぎつゝあるが、哈爾濱における右官舎は新馬家溝の閑靜な地に本年六月より着工し既に外部建築を終り目下室内工事中で遲くとも十月末までには完成の見込である、完成の曉には滿洲國各機關の日系官吏に希望を纏め申込多數の場合は結局抽籤によつて決定する筈である、總建物は二階建全部で百五十戸一戸當り八疊一間六疊一間に浴室便所炊事場付きで窓の如きも特に日本色を現はす爲に丸窓とし呉竹をあしらい欄間まで入れた青疊の香と共に完成を期待されてゐる

抜刀のソ聯兵突如不法越境

滿人三名を拉致す

【ハルビン支局發】禁機關の發表によれば濱江省密山縣二人班入甲長孫發(五六)同人の從弟孫子林(三七)及び孫發長男孫寶山(三四)の三名は八月十八日、密山縣二人班入甲長春屯の滿蘇國境線の北側小站滿軍歩兵第十五團第一連兵舍西方約二粁、同團第二連兵舍東南方約二粁弱の地頭において草刈中、突如拔刀せる蘇聯兵四名が乘馬にて國境線を不法越境し午後五時頃、馬五頭馬車一台(價格三百五十圓)とともに右三名は拉致された斯かる不法拉致事件は頻々として東西國境線にわたり繰返されてゐるので、外交部特派員公署より蘇聯總領事館に嚴重抗議を提出してゐるが今もつて何等の確答に接しない

哈市當局から御巡狩記念帳獻上

【ハルビン國通】皇帝陛下今次の大觀艦式に御親閲並に初の御巡狩に對して市公署當局では記念寫眞アルバムを謹製しこれを陛下に獻上することとなつた、このアルバムは縦六寸、横一尺五寸で莊重に緞子で表裝され總金縁に飾られその裏に闘花と高粱と松花江とハルビン市街のプロフイルを畫き上下二卷に分け四十八枚の寫眞を組入れた全く美事なものである なほ大典參列の政府顯官百餘名に對しても別に大典記念アルバムを作製して近く發送する

米内山領事のウルシン河一帶視察談

【ハイラル國通】約十日間に亘つて甘珠爾、アムグロン、ウルシン河を北上アルタイメン方面約七百卅哩に亘つて視察して歸つた當地米内山領事は次の如く語つた

本年は雨が少かつたので案外樂に蒙古の旅が來た、アムグロンよりボイル、ダライ兩湖を繋ぐウルシン河東岸一帶の廣漠たる大牧地は全くハイラル附近では見る事が出來ない、數十哩に亘る一帶に數千頭の羊群馬群が至るところに見うけられた、全ホロンバイル家畜數は九十餘萬と云はれ豫想も出來なかつたがウルシン河一帶の大放牧群を見て成程とうなづけた

滿洲特產協會總會

十九日哈市で開催

【ハルビン國通】本年度滿洲特產協會の總會は來る十九日哈市に於て擧行されるが、出席者は内地代表卅名、南滿並に哈市代表廿名で合計五十名の豫定である、提出議案は東京一件、名古屋四件であるが何れも技術的改良を要望するもので大体平穩裡に總會は午前中に終了するものとみられ午後は[illegible]機關細木中佐、鐵路總局諸富氏、哈鐵平田氏、滿鐵々道部江崎氏、村越克山農事試驗場長らの軍事、產業經濟に關する講演あり一般に注目されてゐる

青山、海文合流匪殲滅

内田部隊の殊勳

【ハルビン國通】京濱沿線楡樹駐屯内田部隊は十一日午前十一時から滿洲國警察隊を指揮し第七周水甸子南方で青山海文、合流匪、百餘名と交戰これを徹底的に殲滅せしめた匪賊の遺棄死體は數十、我軍は戰死一名、重傷三名、輕傷三名である

哈市秋季第二次競馬

(九月十三日)
入場人員 八三二名
單式勝馬票賣上 一三、四五〇、〇〇圓
復式〃 一〇、九八〇、〇〇
合計 二三、四三〇、〇〇
搖彩票賣上 四、七三一、〇〇
合計 二八、一六一、〇〇

(九月十四日)
入場人員 一、四五名
單式勝馬票賣上 一六、六八〇、〇〇
復式〃 二四、四二〇、〇〇
合計 四一、一〇〇、〇〇
搖彩票賣上 七、七三〇、〇〇
合計 四八、八三〇、〇〇

針金で絞殺

宵闇に躍る怪盜

【ハルビン支局發】十三日午後七時半頃新市街驛前海城街十二號滿人雜貨商孫介臣(四二)氏が外出先から歸つて見ると店内が取亂らされてゐるので不審に思ひ明け放された地下室を覗くと店員伊擧幸、(二一)王景茂(十九)何れも山東縣縣生れの兩名が絞殺され無慘な死体となつて居るので驚いて南崗署へ屆け出でた

時を移さず駈けつけた飯田刑事兩字隊長は協力證據物件の蒐集に努め、一方本廳よりは檢察官出張檢死し取調べたところ現金國幣五十圓とロシヤ飴十箱(價額八圓)が盜難にかゝつて居た手口より見て犯人は非常に巧妙に行動して居り現在のところ證據品としては絞殺に使用した針金のみで兇行後二時間近くも經過して居り犯人は逸早く逃走したものらしく遂に警戒網に引つかゝらなかつた

興安東分省

莫力達瓦旗の一般事情(六)

△農業

旗內一般の地勢は山岳高地多く農耕地としては努敏河、鐵江兩河の流域に平地展開して居り粟、包米、大麥、ソバ等々產す、然しながら地勢と農家の少き關係上其の生產多からずして不作の年には消費は生產數量にて之を補ふを得ず他よりの移入によらざるを得ない程の窮迫の狀態にある

△作付並收穫數量

品種別	作付晌	收穫率	收穫數量
小麥	三〇〇	一石	三〇〇石
大麥	四二〇	二石	八四〇石
大麥	四〇〇	二石	八〇〇石
蕎麥	三〇〇	二石	六〇〇石
黃豆	一、六〇〇	二石	三、二〇〇石
雲豆	四〇〇	一、五石	六〇〇石
包米	一、五〇〇	三石	四、五〇〇石
谷子	一、六〇〇	三石	四、八〇〇石
麻子	二〇〇	三石	六〇〇石
高粱	二〇〇	二石	四〇〇石
蘇子	一〇〇	一、五石	一五〇石
土豆	三〇〇	四、五石	一、三五〇石

△播種期及收穫期

品種別	播種期	收穫期
小麥	四月下旬	八月上旬
大麥	同	同
蕎麥	同	八月下旬
大麥	同	同
黃豆	同	九月上旬
雲豆	五月上旬	同
包米	同	十月上旬
谷子	同	同
糜子	五月下旬	九月上旬
高粱	四月下旬	九月上旬
蘇子	五月上旬	九月下旬
大豆	同	同

△地主、自作、小作別農家數

	農家數
地主	八六五戸
自作農	四八七戸
自作兼小作	二一六戸
佃農	一六二戸

△地價

土地の賣買等を爲すもの殆んどなしと雖も其の標準地價を求むれば大体次の如し

(イ)已放荒地
中則 一晌地 二元
下則 同 一元

(ロ)現在熟地
中則 一晌地 一〇元
下則 同 七元

南滿

「双心臓」の當選歌姫謝禮金を突返す

契約違犯、不當評價の出演料

中央館の暴行指彈さる

【大連支社發】大連中央映畫館では最近非常な馬力で流行して來た映畫主題歌に着目し無名の麗人歌手をステージに立たしめ、ヒツトせんと巧妙な宣傳方法を案出し、先月二十四日十七名の應募者の中より嚴重なるテストの上三名の歌姫を採用する事となり、二十七日より上映する「双心臓」よりデヴユーしたが當選三歌手に對するフアンの興味は豫想外に大きく、大成功裡に試演を終つたが、玆にはしなくも出演三歌手に對する報酬問題にからみ中央映畫館 島川支配人、麗人三歌手を繞り醜いアフエアが持ち上つた、問題は出演者に對する謝禮金が一日三回出演して五圓と云ふ話であつたところ、事實は一日三圓より支拂ひを受けなかつたところから出演者中のピカ一田中勝子さんは余りの事に謝禮金を突き返した事に端を發して居るらしく、中央映畫館としては全くの未成品をステーヂに立たしたのだから三圓位ひが至當であると稱して居るが、應募者には相當嚴重なテストをして採用したものであり、且つ妙麗の女性がステージに立つ以上相當の化粧等をもなさねばならず、之れがために中央館では超滿員を續けた事でもあり、今後此の種興業政策が重視されんとする矢先きに斯る事件の持ち上つた事は當の對手が大連有數の映畫館であるだけに顰蹙すべき事であると噂されて居る

"全くひどいインチキです"

その一人中川あや子さん語る

右につき出演者の一人中川あや子さんは語る

貰つた金は初の約束と違つてゐましたわ、森田と云ふ東京の松竹から出張してゐる人は、それぢや勘ないと云つて呉れたさうですけれど、島川さんが、切つて終つたらしいのです、私などはどうでもよいから泣寢入しましたけれど田中さんは働いて食つてゐる人だから可愛さうです、田中さんが怒つてネジ込んで行つたので館はモメてゐるさうですね あの方インチキだと云つて隨分怒つて居りますよ

放送プログラムに地方色を盛る

十月一日を期し根本的改革斷行

【大連支社發】現在大連に於けるラヂオ放送は内地中繼を中心としたものでその内容に些も地方色を盛られてないので聽取者側より可成非難があるので電々會社では放送事業の統制改善を企圖し聽取料徴收開始後一ケ年を經過した十月一日を期して先づ大連及附屬地内に在るラヂオ聽取者に就き受信機の種別、平素直接聽取する局名、放送種目の內常に聽取してゐるもの、時々聽くもの、全然聞かぬもの、好きな種目、嫌いた種目、新に放送を開始してほしいもの演送者、アナウンサー等に對する希望詳細に亘り調査の上これを參酌して事業改善の資とするものの如く、將來滿人側の意見をも徴しラヂオの全滿的波及を企圖してゐるものと見られ結果は相當注目されてゐる

滿鐵宣傳のハイキングコース

【大連國通】滿鐵々道部では先般來奉天を中心とするハイキングコースを選定宣傳すべく調查中であつたが、この程治安狀態を考慮して左の七コースを大々的に宣傳することゝなり、近く刊行物が發行される運びとなつた

一、鐵嶺、龍尾、鷄首山コース
二、歪頭山、彼陰寺山コース
三、本溪湖、駱駝山、太子河コース
四、橋頭、松山、朝陽寺コース
五、南墳、後山コース
六、下馬塘、老黄山、ロツキーコース
七、宮原、平頂三コース

最首伍長の告別式

盛大に執行

【敦化支局發】去る八月十六日三道河子附近に於て三百餘の共匪と遭遇し一大激戰中壯烈な戰死をとげた故歩兵伍長最首正行氏の靈位の○○隊葬は九日午後二時半より佛式により○○隊下士集會場に於て莊嚴裡に執行せられた

定刻、○○隊將士在鄉軍人小學校生徒、領警官吏、滿洲國官吏、國婦會その他各機關着席儀仗兵二名左右に着劍いかめしく靈を護り敦化佛教團の讀經、松井○○隊長、田中○○中隊長二年兵代表高井上等兵、前田副領事代理、盧縣長の弔詞、關東軍南司令官その他多數の弔電朗讀

當時の小隊長中西特務曹長、故最首伍長の奮戰狀況を述べれば一同哀愁の涙を誘つて田中○○中隊長喪主として懇切なる挨拶をなし午後四時盛んなる告別式を終了した

身にしみて來た秋風 夏家具を藏ひませう 永持ちさせるには ―どうすれば良いでせう？―

殘暑とはいひながら、既に秋の氣は空に滿ちくて居ります。そこで夏の間調法した器具道具のしまひ方を考へなければなりません

○簾○ は虫のつき易いものですからおしまひになる時は、一日太陽にあてて乾かしよく柔かいブラッシュで埃を拂ひ落したら、入ッだたみ位にして所々にナフタリンを入れてしまひます。よく簾を巻いて、おしまひになる方がありますがあれは緣がいたんでいけません

○扇風機○ の一番よごれるところは何といつても翼で、これについた埃は揮發油で拭きとつて置かなければなりません。次は後の翼を支へる丸い部分こゝが機械構造の最も重要な所ですから、油をさして置かなければなりませんが、先づ夏中に凝固してゐるグリス(油)を揮發油でよく洗ひ更に新しいグリス(自轉車屋に賣つて居ります)を塗つて置くことが大切ですそして新聞紙に包んでおしまひになればよい思ひます。

○蚊帳○ これな直接日光にあてると色の褪める虞れがありますから、おしまひになる時は日蔭干しにし、時々表面をかへて埃は振つて拂ふより仕方がないでせう、そして成るべく大きくたたんで(折り目がいたみますから)下づみにならぬ樣又は箱に入れておしまひになればよいと思ひます、若し色が余り褪めた樣な時は、染めなほせば見違へる樣になりますがこれは來年の夏の初めになさつた方がよいでせう。

○冷藏庫○ これもおしまひになるときは扉は開け放してよく日光にあて乾燥した所でおしまひにならなければ腐るおそれがあります、また中にある金網とか、金屬の水受けの樣なものは全部はづし、油をひいてさびない樣にすることが肝要です。これは別々におしまひになつてもいいでせう。

―燈下親しむ候― 興にかられ 眼を痛めては大變 燈火に對する御注意

大氣は澄み、冷氣は肌にしみ秋の夜は誰しも讀書氣分に誘れます、讀書三昧の妙境は秋の夜ならでは味はへぬものです、併し興にかられて眼を悪くするやうなことがあつては大變です、そこで眼の衛生といふ立場から、讀書に關する御注意を申し上げて見ませう

○電球○ はつや消電球がよいと思ひます、光を晝の明るさに近づけると共に眼にやはらかく當りますから衛生的です、經濟的に光力を考へますと、弱い燭火で出來るだけ電球を接近させる事が有利なのですが人工光源は太陽と同樣熱を伴ひますから、光源を余り近付けすぎると光力は增しても光源から出る熱を頭や眼に受ける結果衛生的には悪いのです甚だしい場合には、眩暈、嘔吐、充血を起しますから、距離の短は是非考へに入れて頂きたい、今その理想的距離を擧げますと

三〇ワット 一米
四〇ワット 一、二米
五〇ワット 一、五米
六〇ワット 二米

となりますが併し如何に採光上の理想にかなつても、眼の屈折異常で眼鏡を使用してゐるものは、時に長時間細いものを見ぬこと、及び姿勢を正しくすることを忘れてはなりません

○理想○ なほ光源の位置は理想的に云ふと以上の距離を保ちつゝ左から來るのをよしとします眼の構造からいつても、眼は凹所にあつて睫毛がこれを保護してゐるわけですから、上から來る光線は直接眼を刺戟せず衛生的に見てもよいこととなります、笠は光りを

○反射○ させるのに重大な役目を持つてをりますから一つの裝飾品とのみ考へるべきではありません、元來電球から放つ光力は眞下へ向ふ力より横へ向ふ力の方が強いものですから横へ放つ光を下方へ向けることが最も有效な利用法だといはなければなりません、それ故笠は側面が光を通さず下方へ反射するものをよしとするので普通見かける淺い皿の樣な笠は、上方へ行く光線を反射させることが出來ても横へ行く強い光は逃げてしまひますから經濟的に見ても好ましくありません。

○最後○ に壁の色は灰白色か薄綠か最も理想的で黒は光線を吸收して部屋が暗くなり白は余り反射しすぎて眼を刺戟するからよくありません。

家庭メモ

◇卵の茹で方 茹でる前にピンで穴をあけると龜裂か入らない。

◇馬鈴薯の茹で方 鹽茹でにする時すぐ鹽を入れないで殆ど茹だつた時に入れる。

◇銅藥罐の磨き方 銅などの藥罐を磨く時は、中に湯を一杯入れておくと、簡單に磨ける。

◇ナマヅの素人療法 梅干の肉と松脂の細粉とを等分に煉り合せて塗付ければ治る。

◇味噌汁の煮方 鹽を少々摘み込むと非常に美味しい汁が出來る。

今日の献立

●(朝)● ▲味噌汁＝中身は葱と油揚 附合せの茄子の辛煮は、蕃椒を利かせて煮つけます。

●(晝)● ▲しめぢ茸と燒豆腐の煮物＝しめぢ茸はあくち除り、燒豆腐は適宜に切つて煮出汁と醤油、砂糖少しで煮上げます。

●(晩)● ▲オムレツ＝丼に玉子をほぐして鹽と胡椒で味をつけ青豆があれば入れます、フライ鍋に油を少々引いて、温まつたところへ玉子を流し入れ、箸でかき廻しながら表面が半熟程度になるまで燒き、半分に折れ伏せて皿に盛ります。

けふの番組 十七日(火曜)

(朝)
六、〇〇 建國體操(滿語)
六、一五 ラヂオ體操(大連)
引續き 入港船の御知らせ(大連)
六、三〇 中等滿語講座(大連) 講師 秋父固太郎
七、〇〇 中等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七、二〇 天氣豫報(大連)
引續き 朝の音樂(東京)
八、三〇 經濟市況(大連)
九、〇〇 音樂(レコード)(大連)
九、二〇 料理獻立(大連)
九、四〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 婦人家庭講座 秋の萬葉の歌 赤塚久子
一〇、二〇 經濟市況(大連)
一〇、四〇 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、〇一 經濟市況(東京・及大連)
一一、四〇 ニュース(東京・新京) 引續き新京經濟市況 〇、〇一 引續き(大連・新京)

(晝)
〇、二〇 晝の演藝(滿語)
〇、四〇 建國體操(奉天)
一、〇〇 淸唱 寶馬當 烏盆計 唱 王潤亭 胡琴 紅樓 二胡 李連城
一、二〇 ニュース(滿語)
二、〇〇 經濟市況(大連)
引續き 日用品値段(滿語)
二、二〇 成人講座(哈爾濱)
三、三〇 經濟市況(大連・引續き新京)
三、五〇 ニュース(鮮語)
四、三〇 演藝(鮮語)
四、四〇 ニュース(英語)
四、五〇 子供の時間(奉天)
五、〇〇 齊唱と獨唱 奉天朝日高等女學校生徒
ピアノ 宮下トミ子
齊唱 一、南京言葉 二年生 赤澤幸代 飯田輝子 二、雲 金丸孝子 三、赤とんぼ 彥坂小夜子 四、昭和の光 矢部妙
獨唱 一、居睡り地藏さん 二年生 古場鹿代 二、象とパイプ

(夜)
六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 氣象通報 番組豫告(滿語)
六、二五 政府公報
六、三〇 國民の時間 國民精神作興週間(第六日) 協和會理事長 張燕卿 通譯 協和會中央事務局社會課長 好田武雄
七、〇〇 萬才(東京) ハイキングバナシ 林家染太郎 林家染二郎
七、二〇 義太夫(大阪) 菅原傳授手習鑑(寺小屋の段) 淨瑠璃 竹本大隅太夫 三味線 鶴澤道八
八、一〇 舞踏音樂(第一夜)(大阪)
バッハ、ヘンデル時代＝桃谷演奏所より中繼＝ 大阪ラヂオオーケストラ 指揮並編曲 菅原明朗
八、三〇 時報・ニュース(東京)
引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告(滿語)
九、〇〇 舊劇(奉天) 双獅圖 雅韻社演員 徐策 路玉龍 徐愚 陶育功 丑 孫長富 場面 岳長奎 外五名
一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱)

舞踏音樂の夕 (第一夜) 【後八・一〇】

地方色豐かな バッハ、ヘンデル時代 大阪桃谷中繼所より

大阪ラヂオオーケストラ 指揮並編曲 菅原明朗

九月十七日(第一夜)バッハ、ヘンデル時代。十八日(第二夜)交響曲黄金時代より十九世紀前半。十九日(第三夜)第十九世紀後半よりジャズまで……に分ち三夕に亘つての舞踏音樂の放送で第一、二兩夕は管絃樂、第三夜を吹奏樂で演奏される。第一夜の今夕演奏の各曲に就き菅原明朗氏が解説 舞踏音樂はバッハ、ヘンデルの近世音樂の生れるまでの舞踏曲である。交通の不便と封建制度の爲に曲が地方的であつた。

一、サルタレルロ ゴルツァーニ作曲
千五百八九十年頃の音樂。今日タランテルラとして廣く知られて居る舞踏が三百五十年前にはこんなに緩におどられて居たのである。拍子も今日のものは八分の六のものは二拍子の六ステップだが、當時のものは三拍子の六ステップだつた。主として伊太利南部、それからスペインへ入れて行つた。庶民階級から起つた踊りである。

二、パヴァーナ バルベッタ作曲
北伊太利の町パドワの地方から生れた典雅な踊り。貴族の社會に流行した。六拍子、三拍子、二拍子、四拍子等種々の形があつたが最後の二拍子と四拍子のものが二つのこつた。今夕演奏する曲は三拍子もので一五〇〇年代の終りごろのもの。それと古い時代にはパドゥアーナと稱されて居た。

三、ガリアルダ モリナーロ作曲
三拍子、メヌエット發生の母體とみるべき音樂。比れは一六〇〇年代初期のもので、前の二曲にくらべてリズムがはつらつとして來てゐる伊太利、フランス、南ドイツ等の當時のラテン文化の俗地方に廣く流行した。

四、ギヤボット ペサルド作曲
ギャボットは四拍子又は二拍子の諧謔味をおびた音樂庶民階級から起つた踊り故リズムが單純で、虚飾のない迫力を持つてゐる、此曲も同樣一六〇〇年代初期のもの。

五、サラバンド リコーリー作曲
時代を最もよく代表する三拍子の典雅な舞曲ルイ王朝はなやかなりし時の、ベルサイユ宮殿の音樂である。

六、パッサカイユ クープラン作曲
前曲同樣ルイ王朝の音樂。サラバンドと反對にこれは輕快な音樂である。此頃になつて舞曲は獨立した器樂曲としても鑑賞される樣になつて來た。

七、クーラント ラモー作曲
三拍子と二拍子の混合した非常に複雜なリズムに扮飾された踊。素朴、剛健、およそ上掲六曲とは正反對[illegible]あるロココ文化の代表的な舞曲の一つである。此等の踊は全部亡んでしまつたが全々姿を變へて今日地方的に殘つてゐるにすぎないが反對に其等の音樂とリズムはバッハ、ヘンデルの近世器樂曲に永久に輝く其の傑作の母體として生きてゐるのである。

義太夫 【後七・二〇大阪】 菅原傳授手習鑑(寺子屋の段)

文樂座 竹本大隅太夫 三味線 鶴澤道八

この淨瑠璃は延享三年八月竹本座初演に初まり、作者は竹田出雲三好松洛、並木千柳等の合作で、當時竹本座の衰運挽回のために作者達に天滿宮へ祈願を籠め必死の覺悟で各自分擔書下したのがこの淨瑠璃で果然好評で翌年三月まで打續け、竹本座を再び隆盛にした因緣深い狂言である、殊にこの淨瑠璃に於て興味を覺ゆるのは「骨肉の別れ」といふ同じ題目の下に各持場を定めて筆を執つた即ち「道明寺(相丞名殘りの段)」は松洛「佐大村(櫻丸切腹の段)」は千柳「寺子屋(松王首實驗の段)」は出雲と三人の作者が腕比べをした逸話が貽されてゐる。今夜の語り場所は斯る所へ春藤玄蕃ーから最後までを御聞きに達します。

竹本大隅太夫―明治十五年十二月廿七日靜岡市七軒町一丁目に生る―明治三十六年十月竹本大隅太夫の門に入り大隅の歿後越路太夫に大正二年より敎へを受け大隅太夫を襲名 鶴澤道八―友松といつた人である久しく文樂座を離れてゐたが、津太夫の合三味線として入座し今日に至つたが、三月興行から新大隅太夫を彈く事となつた、名人肌の三味線で「鳥羽離宮」等その得意とする所である

寫眞 淨瑠璃竹本大隅太夫(左)さんと三味線鶴澤道八(右)

萬才 ハイキングばなし (後七・〇〇東京) 林家染太郎 林家染二郎

林家染太郎、染二郎の御兩人共落語家出身で、桂小文治の配下であつたが、漫才に轉向松竹演藝部專屬の漫才で目下常盤座に出演中。

◇……◇

この前の日曜日に何處へ出掛けたかと訊かれた男「公設市場ですよ」すると「男よくない」と冷やかされ「いや實は日光へ紅葉狩に」と答へる。ところで家へ車を横付けにしたのは八時半頃だといふ。しかし彼の家には車などつけられる場所はない。變だと思へば、何のことはない、たゞ圓タクを改正道路で呼びとめただけのこと。さて二人の子供と家内をつれて電車に乗らうとしたが、切符を三枚で濟まさうとしたので大變な苦しみ。さて日光で何を見たかといはれゝば千匹もの猫の園遊會をみたといふ歸りには鬼怒川温泉へよつて來た「しかし兎に角温泉地はいいね」「うん、君も仲々温泉地にはくわしいね」「ガイドをしてたからね」「しかし何とつても日歸りどころがいいよ、食卓をはさんで、お酒もあきたから猫入らずにしよう」「それぢや一回の終りだね、つまり冷たいビールでのどをうるほしてから」「お互ひに泡を吹きながら」「それぢやてんかんだよ……」「それでは一つ温泉に行かうといふことになる。そして賑やかな小唄をうたふ。

△都々逸 ねむり病にかゝつて見たまくらならべてこのまんま 會ひたいと思ふ矢先に名しの電話、もしやと思ふのよく、胸は高波、むら雉 小野道風柳にもたれ夕立の雨も一降り馬の背分けて涼しき川岸に柳ののよりそへて」蛙に見とれてゐるわいな

放電

いま言つたつて一寸望みのないことだとは思ふが、ラヂオに於ける廣告放送といふものについて再考の要はないであらうか▲われらは、聽取者大衆の立場から、放送される內容の向上複雜化、それを少い費用で實現させ得ると思ふから、廣告放送も統制よろしきを得れば必ずしも排擊すべきではないと思ふのである▲現に上海や天津では每日やつてゐるが少しも實害は無いと聞いてゐる聽取者は自由な選擇が出來るのだからいやなのは聞かなくていゝまた、良いものをやらなければ聞くものもないわけである、日本式な官業式經營が果して最も合理的であり效果的であらうかどうか、暫らく比較のため實驗的にやつて見るだけの度量ぐらゐあつて良からうと思ふのである(Y)

文芸

仲秋

煤九歳

昨夜は風强かりけるをひそやかに雨に明けたり今日し仲秋

日をひとひ降りつぐ雨のけ寒さやしきりにたちていばりしに行く

寒に入る雨かやけふの冷えしるし給仕に熱き茶をもて來さす

願届の人ら來らず仲秋のけふ雨降りて事務のひそけき

說諭願、墮酌婦、女給の届けなしけふの一日の寂けかるかも

滿洲里は雪ぞと言ふをうべなひて寒けきかなや新京は秋雨

新京ラヂオ・ドラマ研究會

第三回放送用脚本

秋櫻（三景）

（禁無断上演轉載）

近東綺十郎

―上―

時代……現代の秋
場所……北滿洲
人物……槇貞江（廿九）
三崎理津子（廿一）槇の義姉
槇龍三（廿四）學校教師
保科啓作（廿八）會社員
相良宗一郎（廿七）その從兄
人外警官大ぜい　その友

第一景

槇貞江のアパート。後翠で現在同僚の三崎理津子が同居してゐる。

遠く微かに、理津子の歌聲

夕空　晴れて
秋風　吹き
月影　落ちて
鈴蟲　泣く

――（膳立てなどをし、御馳走を並べてゐる氣配ー時計五時を打つ）アラ、五時……どうしたんだらう龍三さんたちは……三崎さん、三崎さあん……まあ、一生懸命だこと

――（料理を持つて入つて來る）姉さん、呼んでらして？……

―― 何、それ、あらきれいなハムエッグス……美味し相だこと。本當に理津子さんはお上手だわね、妾なんか一度家庭持つてる癖にお料理と來たらまるで恥かしい位よ。

―― 厭だわ、そんな冷かしたりたんかしちやあ、

―― ひやかした譯ぢやないわよ、もう大方出來たんでせう。隨分御馳走が並んだわよ

―― これで終りなのお客さんがお出でになつてから、コスメを暖めたらそれでいいのよ。ああ、そおそおビールの拴抜きにコップが足りないわ。妾お向ひに行つて借りて來るわ。

―― 大變だわね…妾のお蔭で……御苦勞樣ね

―― いいのよ、いいのよ、遠慮なんて水臭いわ

―― ホツホツホホホ

理津子出て行く。レコード

――（小聲で意味なく唄ふ）夕空晴れて、秋風吹き……秋…か…。（唄）思へば遠し…故郷の空……あああ、何とたく、胸をしめつけられるような寂しさ……

（遠い豆腐屋の鈴など……夕闇の迫る物音）

―― 姉さん、どうしたのよ

―― 何でもないわ。龍ちやんたちが余り遲いもんだから

―― ほんとに遲いわねえ、どうしたんでせう、もう五時すぎたわ

（足音、ノック）

―― あら誰か來たらしいわ

ヘーイ、どうぞ ―

（扉開いて、保科入つて來る）

―― 今晩は、おや、まだ槇は來ませんでしたか

―― 來ないわよ。一緒ぢやなかつたの

―― 一緒に來ようと思つてたんだけどね、彼何か、途中で用事を濟まして行くからつて、四時前に出たんだけど、どうしたんかなあ

―― 用事つて、余程大事な用なんかしら……一時間も先なのねえ、

―― そいつは聞かなかつたんだとね

―― 怠慢よ、保科さん……龍ちやんだつて意地惡だわお姉樣の送別會をやると言ふのに、役所の用事でもないものを、急に出かけるなんて手はないわ。ネエお姉樣

―― 龍ちやんにしちや變ね……何か思ひ違ひをしてるんぢやないかしら？……ネエ保科さん、そんなところなつたかしら……妾に對してよ

―― そう言はれると、イヤそう思ふのは僕が今聞いた言葉からの錯覺かも知れない。

―― あるかも知れないね。みんなだつてそうだけど、龍ちやんは妾の轉任が大反對なの

―― そうか

―― 一昨日、妾は龍ちやんから散々言はれたの、……龍ちやんは妾が奉天に轉任するのは、妾が結婚するための豫備行動だと言ふのよ

―― まあ、

―― ふゝふうん、成る程ねえ

三崎さんが宿直だつたので遲くまでようく話をして、みんな分つて貰つたと思つたのだけれど

―― こゝだから言ふけど、そう言はれると思ひ當る節がある。昨日の朝、馬鹿に蒼い顔して會社に出てるから、どうしたんだと訊いたら、どうも昨夜眠れなかつたんでと言つてゐたが、何でもアパートの奥さんの話によると、昨夜おそくまるでアルコールの中に漬つて來たみないに醉つ拂つて歸つたらしいのだ。

―― すつかり誤解してるんだわ。そんなデマは、何處から出たんだらう。

―― お酒なんか飲んぢや不可ないわ

（唄）庭の千草も　虫の音も
かれてさびしくなりにけり
あゝ白菊あゝ白菊ひとり
おくれて咲きにけり

―― ぢや、仕方がないから始めてゐませうよ。卓子について頂戴、保科さん。今日の御料理は三崎さんにすつかりやつて貰つたのよ。

―― 意味ないなあ、槇の奴……

（食卓の整えられる音、女たちの支度する足音）

――（ビールを抜いて）はい、保科さんから（ビールを注ぐ音）

――（獨白のふうに）ネ、お姉樣、でも龍ちやんにしてみると、そりやきつと寂しいに違ひないと思ふわ。五年間と言ふものお姉樣一人を頼つてやつていらしたんだもの妾だつて實際言ふとこんな突然別れるのとても辛いんだから……の伴奏、

（夕空晴れて……一瞬無言）

――（强いて元氣に）貞江姉さんの御健康を祈ります

―― ありがとう、理津ちやん、さ、乾杯して頂戴

―― ええ（咽び泣く）

―― 妾だつて充分龍さんの氣持は分るのよ。中學の三年の年に、お母さんに死別れて、叔父さんの家から學校に通つてゐたのを、死んだ主人が中學を卒業すると直ぐ滿洲（こつち）へ呼んだんでせう。そのたつた一人の兄の許に來て、二年目の秋には主人にも死に別れるし、妾にしても龍ちやんを一人ぼつちにするのが可哀想だしするから、どうしても亡くなつた主人の家を離れる氣になれずに、二度のつとめに出たりして、今日まで暮して來たんだけど
………

―― 槇は實際、貞江さんを何物にも替え難い位に思つてるんだからね、それは彼非常に………おや

（ノック……）

―― あら來たらしいわ……

…ハーイ

―― 龍ちやんぢやない？

（扉開く）槇入つて來る

―― 遲くなつて、濟みません、

―― どうしたんだい槇？余り遲いから始めてるとこなんだ。

―― よかつたわ龍ちやん、來てくれないかと思つたのさあ、此方へ來て頂戴

―― 途中で一寸、遲くなつたもんだから

―― 理津子さん、今晩は…どうかしたんですか、姉さん？

―― まあ、いいから、も一度乾杯しませうよ。貴方が遲いんで、みんな心配してくれてゐたのよ。

―― そうですか………保科君、理津子さん、濟みませんでした。

――（涙聲で）いいえ、何でもないのよ。……妾だつてお姉樣に別れるの幸いのよ。龍ちやんの氣持だつてようく分るわ。

―― 改めて乾杯しよう。貞江さんの健康を祈ります。

―― 姉さん、御健康で……

―― ありがとう。理津子さん、元氣を出してね。奉天と此處ですもの、又會えないぢやないんだしさ。

―― そうだ。土曜日の夜から三人で押かけりや、毎週だつて會えるんぢやないか龍ちやん、しつかりしろよ……おい、

―― 濟まない、濟まない。みんなに心配さして全く…

―― まあいいさ。もうそんなことはいい。まあ今晩は一つ飲むさ。ハハハハハ

（レコードの中に幕）

創作

愛憎記（五）

今村榮治

むつは寢仕度にかゝり健三も寢に就いたが妙に心がもやもやして寢つきが惡かつた。健三は眞暗なところではねられない習慣があつて寢る時は五ワットの電球をつけ換へるのだ。が、その夜は五ワットのうすぐらさが氣になつて六十ワットそのまゝにした。晝間は騷々しい吉野町も夜ふけはひつそりと靜まりかへつてゐた。

「いたッ！」突然むつが悲鳴をあげた。

「どうかしましたか、嫂さん」

健三が思はずきくと

「まあこの児つたら寢呆けて乳首が千切れるほど噛むのよう、あゝいたい」

ふつくらした乳房の上に關節の窪んだ五本の指が、這つてゐるのがみえるやうだつたその体全体、爪の先まで水がいつぱいなのだ。しかも襖一重むかうで、水の遣り場に困つてゐる。健三はうす汚れの天井をみつめてゐるのだが、靜まりかへつた夜の息ぶきの中で押へきれない情慾が天井いつぱいに這ひ回つてゐた、今健三の腦裡で二つの心が相剋する、一つは―末はどうなつてもいゝわ、私もう我慢できないの、と傍へやつて來れないものかといふ心と、一つは―あれは兄さんのものなのだ、弟のくせに嫂に對して淫な感じを起すなど不義にも程がある、といふ心と。……

ふうと襖ごしにむつの吐息が洩れてきた暫くしてむつの部屋との襖がすうつと開く音がした、ドキンと心臓が鳴るのである、眼を開けるとむつが左手で長襦袢の衿を合はし、右手が電燈のスイッチにのびてその顔がパッと開いた牡丹の感じだつた。と、すぐまた眞暗になり、自分のでない体臭が全身に押しかぶさつて來ると

「私もう……ないの…ね」

「………」

健三は嫂といふ越えがたい溝を一氣に飛び越える勢で…………、…………たうとう……

…たつたとくるつとむつに背を向け、これでは今までの潔癖性も短い理性の空威張りだつたのかと義理も人情もない動物性を忌々しく思ひながら眞暗な壁面にカアテンの隙間から差し込んで怪げな綾目を投げてゐる光線をみつめてゐるのだが、その時の健三は自分が自分でない氣がした、が其光線の綾目が一瞬激しい兄の面相に變つたのは否定できなかつた、兄弟とはこんなものでないと思ふのである―もはや兄でもなかつた、弟でもなかつた。

どうせながいことは持てないと醫者にもいはれてゐるのでその覺悟ではゐたがその翌日病院から電話が來て健三がかけつけると義三は危篤狀態に陷つてゐたそして二日目に息をひき取つた、息を引き取る直前一度意識をとり戻した兄はむつの手を握り、明瞭な言葉で子供のことなどを頼み頼み泣いてゐた。人が此の世に殘す最後の言葉は、一句一句が神通力を以つてきく人の胸にきざみつけるものだ、義三の言葉がいまそれだと思ふと健三は思はずゐずまひを正さずにはおれなかつた。そして心の中で自分とむつの間に出來てあつた秘密を恥ぢなければならなかつた。むつは泣く泣く義三の一言一言に頷くのだがその涙には健三は潔癖な義憤すら感じた、たゞ妻として義務的に涙をだす、といふ風にしかみえないのである義三が息を引取つた時のむつの緊張した蒼ざめた顔を健三は皮肉に見やつたのである。これは健三の我がまゝな邪推ではなかつた。事實一年前から彼女は簡單に諦めてゐたのだだから彼女は悼みの客にも白々しいとまで思はれるこんな言葉で應酬出來るのであつた。

「どうせたすからない病氣だつたんですから、一日もはやくこうなつたほうが却つて本人のためにも倖せだつたかも知れません」

この少しも未練を顔色にもみせたいむつのふてぶてしさをどう汲んでいゝのか、はたの人々は迷ふふうなのだが、健三はそんなむつの態度も自分につながつてゐるのだと思ひはらはらした。

血となり肉となる葡萄酒

赤玉ポートワイン

二本で

空くじなし

大景品總當り

一等 —一千口— 冬物 婦人紋服地 一反
又は左記一品
紫檀製茶棚 一本
曲木應接セット(五点組) 一組
洋服タンス 一本

二等 —一千口— 小袖タンス 一棹
又は左記一品
洋食器セット(五客分函入) 一組
正絹丸帶 一本
桐胴丸火鉢 一個

三等 —二千口— 婦人持旅行鞄 一個
又は左記一品
子供用勉學机(椅子附) 一脚
水屋 一本
簿記台 一脚

四等 —三千口— 食卓 一個
又は左記一品
子供用寢台 一台
衣桁 一本
婦人持洋傘(雨晴兼用・絹張) 一本

五等 —五萬口— 婦人持携帶用化粧鏡 一個
又はメリヤス・シャツ 一枚

●方法

赤玉ポートワイン包裝紙のレッテル二枚と口金掩(錫製・下圖に示せるもの)の上部二個とを一纏めとしレッテルの裏に住所氏名明記の上 お買上店又は下記本舖へお送りあれ 抽籤券と藤澤樟腦を送呈します

●御郵送は四匁毎に三錢切手貼付のこと ●締切—昭和十年九月末日 ●抽籤方法—一口(レッテル二枚と口金掩上部二個)毎に抽籤券一枚呈上 一千口一組 總數百萬口 當籤番號共通 新聞 警察 代理店立會 昭和十年十月十五日嚴正抽籤 ●當籤發表 同年十月廿五日頃 全國新聞紙上及當籤書へ直接通知 ●景品送付 發表後二ケ月以内 ●郵税不足等規定に違つた御應募は無效です ●御照會はお斷りします

—送り先 大阪市東區住吉町五二 壽屋サービス係—

●應募者全部に……

蟲除けと濕氣拂ひ

藤澤樟腦(ふぢさわしやうのう) 五個包一函 贈呈

"博學"の松岡さん 長廣舌一くさり
紛糾の醫大問題につき 同窓會幹部と會見

人事問題に端を發し遂には大學行政の大改革にまで進展した滿洲醫大の紛糾は全滿の同窓會と大學教授の一糸亂れぬ結束運動により同窓會大會の開催、監督要路並に松岡總裁と會見陳情等着々有利に展開しつゝあるが、十五日本部幹事長神田教授と共に新京ヤマトホテルに松岡總裁を訪問した山口清治氏は大森醫院長らと今日までの經過につき語る

私(山口氏)は曾て奉天の醫大に職を奉じてゐたことがありますが、當時學校でいろ〲問題があつたときはなるべく穩便に〲と收めて來たのですが、今度の問題だけはどうしても默視する事が出來ません昨日(十五日)松岡總裁お會ひしましたが、總裁は世界の一生理學者たるロシアのパウロフなどを引つ張り出して我々の言はんとするところを厚意をもつて諒解してくれましたが聞きしに勝る總裁の博學には驚かされました、とにかく總裁は「自分の厚意と事務的の問題は別個のものであるから醫社の上充分考慮しやう」と力強いお言葉をのこされました、久野教授は世界的の生理學者たるキャノンやルーカスに比肩する權威であるから若し大學から同教授を失ふやうなことになれば醫大の價値は半減されるといつても過言ではないと思ひます我々同窓會はあくまで初志の貫徹に向つて邁進する覺悟です

鍼灸取締 お初の違反

滿洲に於ける鍼灸其他療術行爲の取締は今まで非常に寬大であつたが關東局では九月三日附廳令第五十三號を以て療術行爲取締規則を發令し管下各署に命じ之が取締の徹底を期してゐるが新京に於て取締規則發令最初の違反者が營業停止の處分をうけた――本籍鹿兒島縣鹿兒島市泉町十二番地現住所新京常盤町六ノ二清水克巳は昭和八年以來數回に亘り清水鍼灸術生理學士等の名刺を用ひ又は誇大廣告をなし當局の注意をうけたにもかゝはらず十二日新聞紙折込廣告として『(一)按摩マッサーヂ術按術優秀親切(二)灸術鍼術萬病偉効(三)患者の體質と病狀を考査し右の療法の一二を選べ(四)清水療養院長清水克巳』等一般民衆をまどはす誇大文字を羅列したビラを各戶に配付したこと判明、十四日鍼灸按摩營業命令條項第一條違反として營業停止處分をうけた、なほ署では今後かゝる誇大廣告をなす療術行爲は容赦なく嚴重取締る筈である

滿洲國の參加は手續だけの問題
萬國學生競技大會 出場選手歸る

【滿洲里國通】ブダペストに於ける第六回萬國學生競技大會に出場し、大會終了後歐洲各國強豪を相手に各地に轉戰スポーツ日本の意氣を遺憾なく發揮せる日本學生代表一行十八名は十五日午前十時五十分の國際列車で連續的な試合と長途の旅行に聊かの疲れも見せず元氣一杯日燒けした姿で滿洲里に到着した、驛頭で山本忠興博士に劍を通ずれば次の如く所感を述べた

フィンランド、ハンガリー、ドイツの各地に轉戰したので向ふの選手の樣子はよくのみこめた、一九三六年ベルリンに開催されるオリムピック大會の對策はすつかり出來上つた、目下工事中のスタヂアムで猛練習をして來たが立派なもので既にオリムピック村が五百戶も出來上つて衣服設備も殆ど完備してゐる、一九四〇年のオリムピック大會招致問題は最初とても悲觀的であつたが世界陸聯會長エドストローム氏と私との會談で俄然招致問題は好轉し幹部連も大いに好意を見せ、皆んな日本の準備さへ出來れば當然大國日本に開がるべきだと主張してゐる、日本政府が世話すれば東京招致問題は必ず成功すると思ふ滿洲國のオリムピック參加問題も手續きさへすめば歡迎するであらう

伊通の邦人宅へ 拳銃强盜

十五日午後八時十分頃吉林省伊通縣城內南街居住本籍長崎縣南高木郡良多比村二十五番地生れ賀屋林田壽(三六)方にモーゼル一號拳銃を所持せる三人組强盜(內一名は滿洲國軍服を着用)が侵入し主人の林田に面會を求めたが同店傭人張風容が拒絕し大聲で馬賊々々と連呼するや賊は一物をも得ずして表に飛び出し拳銃數彈を放つて何れにか逃走した

嬰兒の死體 東五條橋に

十六日午後四時二十分頃東五條橋下に嬰兒の怪死體あるを通行人が發見、其の旨新京署に屆け出で署から岩田刑事が管元醫師を同伴實地檢證を行つた結果死體は國籍不詳(滿人らしい)生後二週間位の男子で營養不良の爲め死亡したものと判明した

昨年に較べて 入出が約二倍
お祭當日の西公園

秋祭りと日曜と承認記念日と絕好の散策日和に惠まれた十五日の西公園は朝から入園者が續々押し寄せたが、當日の入場券の賣揚げは六千三百十五枚(百二十六圓三十錢)で前年度の秋祭りのその日と較べて約二倍にも上る盛況であつた、因に昨年九月十五日の入場券賣揚は三千八百十七枚七十六圓三十四錢であつた

大接戰十合に及び 新京軍優勝す
日滿定期野球終る

本社後援第六回日滿定期野球戰は、前日接戰十二合四對四のまゝドロンゲームとなつた第二回戰再試合を十六日午後三時三十三分、球審岩瀨、壘審疋田、沼田、梅野の下に新京軍の先攻で開始兩軍大いに振ひシーソーゲームを演じたが遂に、新京軍九回表梅本弟の三壘打をものして遂に第十回の補回戰の末五對四で凱歌上り光榮の優勝旗を獲得した

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
新	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	5
滿	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	4

經過

一回(新)梅本兄遊匍、小淵左中間安打に出たが二盜を企て刺さる、孫三匍(滿)高橋投匍、佐々木の一壘寄りの匍を川田暴投して生かし二木の三遊間を拔くゴロに兩者生き、續く水原一匍に二木二壘に封殺せしも走者一、三壘、赤木の四球で二死滿壘深瀨第一球を打つて赤木封殺に兩軍得點なし

二回(新)古賀左飛高橋三匍失に生きしも梅本(弟)の三匍に封殺、片岡遊匍(滿)平田ストレートの四球、岩瀨バンドに死する間に平田二壘、水田の遊匍に三進、續く高橋の二壘線上を拔く安打に生還、最初の一點を擧ぐ高橋二盜に死す

三回(新)大田四球、川田のバントに送られ梅本(兄)一邪飛して二死、小淵二匍(滿)佐々木一壘線を拔く安打に二木又もや左翼に安打、走者無死一三壘による水原四球、赤木衆望を擔ふて立ち第七球目を痛打すれば遊擊左を拔く安打となり二者生還、走者尙一、三壘深瀨左飛、平田の三直は水原併殺となりしも滿軍合計三點となる

四回(新)孫三匍、古賀中前安打せしも高橋の三匍に封殺、梅本弟三匍(滿)深瀨遊匍を古賀落球して出かし水田のバンドで二進、高橋の投匍は岩瀨の二、三間挾殺となり高橋二進、二木左飛

五回(新)片岡投手頭上を拔いて出、大田原の三匍に封殺、大田原二壘暴走に死し川田三邪飛、水原二匍、赤木三邪飛、深瀨三振

六回(新)梅本(兄)左飛、小淵投手左を拔いて出、孫の三匍に死する間に三進、古賀投匍(滿)平田左飛、岩瀨中飛、水田遊飛

七回(新)高橋三匍、梅本弟四球、片岡右飛、大田原右中間安打して走者一、三壘川田投匍失を遊擊手暴投して梅本弟生還、走者二三壘梅本兄四球、小淵中前にテキサスして二者生還しも此の回三點を入れて同點となる(滿)高橋投手頭上を拔き、佐々木のバンドに二進二木三匍、水原二匍

八回(新)孫二遊間を拔き、古賀のバンドに二進、高橋の中前安打に三進、梅本弟のバント捕手落球に生還、走者尙一、二壘、片岡中飛大田原右飛(滿)赤木三振深瀨遊匍、平田四球、P・H竹田左前に安打したるも水田二匍して止む

九回(新)(滿洲國二壘岩瀨退き鈴木と代る)川田三飛梅本兄左飛、小淵二匍して生き、孫遊匍トンネルに走者一、二壘によつたが古賀中飛(滿)高橋ストレートの三振、佐々木一壘强襲して出、二木中飛、水原四球赤木左前安打して佐々木生還、同點となり三壘側スタンド湧く、深瀨遊匍したが延長戰に入る

十回(新)(滿洲軍投手深瀨左翼木村、遊擊水原、中堅高橋となり佐々木退く)高橋三振、梅本弟左中間越三壘打、片岡の中飛に生還、大田原一飛(滿)平田遊失に出、鈴木バンドに二進、水田中飛、P・H西村左飛に新京軍優勝、閉戰午後五時三十五分

滿洲國	打	得	安	犠	盗	三	四	失
中左 高橋	5	0	2	0	0	1	1	0
遊 佐々木	3	1	1	1	0	0	1	1
左 木村	1	1	0	1	0	0	0	0
PH 西村	1	0	0	0	0	0	0	0
捕 二木	5	1	2	0	0	0	0	0
投遊 水原	3	0	0	0	0	0	2	1
一 赤木	4	0	2	0	0	1	1	0
中投 深瀨	5	0	0	0	0	0	1	0
三 平田	3	1	0	0	0	0	2	1
二 岩瀨	2	0	0	1	0	0	0	1
PH 竹田	1	0	1	0	0	0	0	0
二 鈴木	0	0	0	1	0	0	0	0
右 水田	4	0	0	1	0	0	0	0
計	37	4	8	4	0	2	8	4

新京	打	得	安	犠	盗	三	四	失
遊 梅本兄	4	0	0	0	0	0	1	1
中 小淵	5	0	4	0	0	0	0	0
右 孫	5	1	1	0	0	0	0	0
一 古賀	4	0	1	1	0	0	0	2
投 高橋	4	0	1	0	0	0	0	0
左 梅本	3	2	1	1	0	0	1	0
捕 片岡	5	0	1	0	0	0	0	0
三 大田原	4	1	1	0	0	0	1	0
二 川田	3	1	0	1	0	0	0	1
計	37	5	10	3	0	0	3	4

▲三壘打梅本弟

優勝旗授與式

かくて直ちに優勝旗授與式に移り、優勝チーム新京軍ダイヤモンド上に整列して、體育聯盟久米理事長の手から黄色旗は藤戶主將の手に授與され續いて片岡選手に大カップを滿鐵總裁盃は孫選手へ、打擊賞を小淵選手、最優秀賞を藤井投手に、夫々拍手裡に授與された後、久米理事長の閉會の辭に、熱戰三日の幕を閉ぢた(寫眞は優勝旗授與と優勝した新京チーム)

奉納試合成績

十五日新京神社秋季大祭奉納柔道試合の成績は左の如くである

▲少年組 一等高(商業)二等佐竹(商業)三等今川(中學)四等宇藤(中學)五等小河(商業)六等井出(商業)七等大田(中學)八等伊藤(中學)九等岡田(商業)十等澀谷(中學)

▲青年組 一等北山(商業)二等稲本(警察)三等脇坂(大同學院)四等佐野(滿洲國)五等堀(大同學院)

早稻田勝つ

【東京國通】雨の爲に延期されて居た早帝第一回戰は十六日擧行、帝大久保田投手相變らずの健投に試合は三對三のまゝ補回戰に入つたが、十一回早大一擧六點を入れて九對三で早大の勝となつた

スコア

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
帝大	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
早大	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	6	9

馬車荒しの怪盜 漸く捕まる

本年五月以來三不管を中心に馬車馬專門に荒し廻る怪盜につき新京署では極力犯人捜査中のところ、最近被疑者らしい者が双橋子吉川組現場苦力小屋附近に出沒せりとの情報に接した新京署中谷刑事は十五日午後二時頃前記苦力小屋に踏み込み擧動不審の男を取押へんとするや矢庭に襲ひかゝつて來たので格鬪の末漸くにして逮捕、本署に連行取調べると原籍河北省生れ住所不定無職李忠山(四〇)で李は部下數名と共に本年五月十五日三不管で馬車馬を强奪したのを手始めに附屬地內外に亘つて十數回同馬車馬專門に荒したことを自白したが、一味も今明日中に全部逮捕の見込みである

大量花嫁 御入來

北滿の極荒地永豐鎭の移民村は開拓以來三ケ年を經過し漸く治安の維持、農作物の收穫等全く確立したので愈々最後の大量的花嫁家族の呼び寄せをなす事となりその第一次百名の家族は來る九月廿七日新潟を出帆淸津に上陸拉濱線經由ハルビンより松花江を下り佳木斯着の豫定である

"兒童と母性の問題" 滿人女性に吹き込む
三田谷博士を招聘して 市公署の新試み

滿鐵の招聘で來滿した大阪醫大教授三田谷博士の來京を機に各方面に於て、氏の研究課題「兒童と母性の問題」の講演會が企てられてゐるが、市公署でも來る十七日午後一時より城內商務會會議室に於て滿人婦人に對して博士の講演會を催すことになつたが、滿人婦人が此種會合に出席するのは恐らく初めてのことであるその成果につき注目されてゐる

伊通、双陽の郊外バス開始
バス會社の新計畫

新京交通公司の市街バスは目下四十五臺を運轉中であるが來月新たに十臺を購入して運轉臺數の增加を圖ると共に十月一日から伊通、双陽の郊外バスを開業しまた興仁大街から南新京驛方面が住宅街として急速に開けつゝあるので同方面にも路線擴張を計畫してゐる

新聯合分會長 推戴式次

十八日午前十時から在鄕軍人會新京聯合分會の五十嵐新聯合會長推戴式が中央通新京神社前で擧行される式次第は左の通り

一、集合 二、新會長推戴の辭 三、新會長挨拶 四、舊會長へ感謝狀並に記念品贈呈 五、舊會長挨拶 六、閱兵 七、分列式

交通事故 頻發

取締當局の嚴重なる取締の目をかすめ交通事故は每日のやうに頻々として惹起し市民を恐怖せしめてゐる十三日午後五時二十分頃城內四馬路廣岡某所有のトラック五一四號に石炭ガラを滿載し劉參出(二二)が運轉し東五條通りを通過して五條橋に出で朝日通りに上らんとするとき東橋詰に遊んでゐた七馬路一號居住石元明の二女小當(六才)がトラックの前を橫斷せんとして轢倒され大腿部其他に重傷を負ひ直ちに神津醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが同八時過ぎ絕命した

△……▽

十四日午前十時頃滿鐵用度課ボーイ李岡顯(一六)が自轉車に乘り西一條と和泉町の三叉路にさしかゝつたとき丸山組のトラックを沈燗變(二六)が運轉して驀進し來り李を車輪にかけはね飛ばし胸部其他に擦過傷を負はせ直ちに滿鐵醫院にて應急手當を加へた

競寫作品 展覽會 新京醫院で

新京醫院ではこの程塚本院長入江事務長、吉村、喜早、鹿野各醫長等の發起で素人寫眞撮影同好者集つて光畵クラブを組織し第一回競寫會を南嶺で催しその作品の展覽會を十六日から十八日まで樓上會議室で開催中、出品點數は四十點餘參觀者の優秀投票を募つてゐるが十八日締切り、審査委員會で一等から五等までを決定する

山領副局長母堂 病勢惡化

吉林鐵路局副局長山領貞二氏は大連で病氣加療中の母堂が昨夜來危篤になつたので十六日午前九時發はとで家族同伴大連に向ひ出發した

室町運動會に 栗原盃寄贈

室町小學校父兄會長、正金支店長栗原重康氏は室町小學校運動會の學年對抗リレー賞に優勝カップ一個を寄贈した

南嶺戰跡に建つた 記念碑除幕式
十九日午前九時半晴雨に不拘

南嶺板花部隊正門前で來る十九日午前九時半晴雨に拘らず南嶺戰跡記念碑除幕式ならびに南嶺寬城子戰歿者慰靈祭が第三十一期士官候補生、步兵第四聯隊、獨立守備第一大隊南嶺部隊、鄕軍新京聯合分會、新京居留民會、國防婦人會新京支部、新京時局後援會、南嶺住民會の共同主催で擧行される、式後神賑として銃劍術、角力等が華々しく催されるが若し何か照會の用向がある向は右事務は新京居留民會で扱つてゐる電話は五二二五番へ

日滿兩語のビラ數萬枚を撒布した

城內でも 衛生デー
きのふ一齊に

新京領事館署では十六日滿洲國側と協同にて衛生デーを催し自動車四台に係員が分乘しサイレンを鳴らして市內隈なく遊行衛生標語を刷り込んだ

總務廳屬官 綱島金治郎氏

王道學會幹事國務院總務廳屬官綱島金治氏は十五日午後九時三十分病歿、告別式は十七日午後零時半躑町大正寺で執行される

いつも東奔西走、席のあたゝまる間もない大原地方議長きのふ哈爾濱から歸ると早速各方面から來客やら電話やら……「地方委員選擧の方はどうしたです?」と聽くと「どうも氣がかりですよ、まだ何一つ運動をしてゐませんが、どうもこの分では全く危つこいものですよ」はどうやら本音らしくもあり

告示第一四號

左記日割ニ依リ當館內(滿鐵附屬地ヲ除ク)居住者ニ對シ臨時種痘ヲ施行ス受痘者ハ當日指定場所ニ於テ種痘及檢痘ヲ受クヘシ

右告示ス

昭和十年九月十日 新京總領事 川村博

記

種痘月日時	檢痘月日時	施行區域	施行場所
九月二十五日 自午後一時至午後四時	十月三日 自午後一時至午後四時	管內一圓	新發屯派出所
九月二十六日 自午後一時至午後四時	同	同	總領事館警察署講堂

愛よ戰ひとれ

（舞臺上演・映畫化）　福田正夫　泉武久畫

（三十二）

追放者（一）

火事跡に建築の繩ばりが新しかつた。その朝の松本家である。――そこまでひゞいてくるピアノは、ショパンをくり返してゐる。勝美が、春世夫人の心配も、本家から來た執事の苦勞觀もかまはずに、

「私は私よ！」

と、相變らず練習をしてゐるのである。――

伊野靜子はぼんやりとその音をきいてゐた。朝、夫人が一寸したことで、彼女をひどく叱つた。いつもにないことで、書生の太田から、この家の嗣子の俊一のことが、夕刊に出てゐたことは知らされてゐたが、それが夫人の不機嫌に關係があらうとは、彼女に考へられる隙がなかつた。

夫人はいつた。

「もうはたらかなくていいから、部屋に引込んでおいで！」

彼女はその言葉を考へてゐた。

「どうしたんだろ？」

自動車のひゞきが邸の前でする と、ピアノが急に止んだ。

「旦那さまが歸つたらしいのね」

彼女はそのまゝぢいつと、霧がくづれて行く建築場を、暗い窓からみつめて、外の女中達のひつそりした足音までが、なにかおどおどしてゐるやうな氣がした。

そつと部屋の襖子があいた。

「ゐるかい？」

「え――」

それは太田であつた。――彼はこつそりと這入つて來た。

「大變なことになつたね」

「なにがですの？」

「俊一さんのことだよ。本家の執事さんが、東京驛まで先生を迎へに行つて、いま歸つて來たよ」

「夕刊に出たつていふこと」

「さうさ、……夫人はひどくあんたを怒つてゐるらしいよ」

「まあ、なんでしよ？」

「昨日の朝、新聞記者にあんたが俊一さんのことをはなしたらう。あれだよ。そんな人のことは知りませんて、さういへばよかつたんだ」

「まあ！」

靜子はびつくりした。

「私、夫人とあの人の間を、お取次したばかりだわ」

「それだからさ」

太田は聲を落とした。

「あんたはお孃さんにも、ひどく憎まれてゐるんだ」

「どうして？」

靜子は美しい眼を見はつた。

「わからないわ。……そりやあ病院から歸つてから」

彼女は口ぐんだのである。それまで妹のやうにちやほやしてくれた勝美が、まるで默つてしまつて、彼女になにかと當るやうになつてゐたのであつた。

「わかつてゐるさ。あんたが、助けてくれた若い巡査、……ほら太瀨君と幼馴染だらう。それが氣に入らないんだよ」

「まあ、さうだつたの！」

「さうさ、お孃さんはあの人がひどく好きなんだ」

靜子ははつとしたのである。それから邦雄に逢ひはしないが、彼女も心の底で彼をたのみにしてゐた。

「それで、……僕があんたに話があるんだけれどね」

太田は膝をすりよせたて來た。――

大連大阪商船出帆

門司、神戸（大阪行）

×印二三等船客設備船　▲印寄島寄港

扶桑丸	九月十八日
うらる丸	九月十九日
×志あとる丸	九月二十日
はるひん丸	九月廿一日
熱河丸	九月廿二日
ばいかる丸	九月廿三日
うすりい丸	九月廿五日
▲亞米利加丸	九月廿六日
吉林丸	九月廿七日

（午前十時大連出帆）

切符發賣所

滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）

專屬荷扱所　國際各地運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店電話（二）一一五一番
奉天事務所電話四〇八九番
新京事務所電話二二一六番
哈爾賓事務所電話五四三二番

北日本汽船

●敦賀直航
●さいべりや丸（月三回）毎一ノ日出帆
●滿洲丸（月三回）
雄基發前九時　清津發後五時　毎六ノ日出帆

日本海汽船

●新潟直航
●嘉義丸（月三回）毎九ノ日出帆
雄基發前九時　清津發後五時

●國鐵及滿鐵主要驛並ニJ・T・Bニテ内地指定各驛迄ノ連絡切符發賣

記

新京區公示第二十號

新京區地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日ハ都合ニ依リ左ノ通延期セラレタリ

昭和十年九月十五日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

記

新京區公示第二十號

茲ニ施行新京區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期因事故左開日期特此佈告

昭和十年九月十六日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

記

新京區　昭和十年十月二日

但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延期スルコトアルヘシ

范家屯區公示第十二號

范家屯區地方委員會委員及豫備委員ノ選擧期日ハ都合ニ依リ左記ノ通延期セラレタリ

昭和十年九月十六日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

記

新京區　昭和十年十月二日

若發生特別事故時得將隨時改定

范家屯區公示第十二號

茲爲施行范家屯區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期因事改爲左開日期特此佈告

昭和十年九月十六日

南滿洲鐵道株式會社
東京地方事務所長　武田胤雄

左開

范家屯區　昭和十年十月十四日

但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

范家屯區　昭和十年十月四日

若發生特別事故時得將隨時改定